

2012 **6**

16号

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



Matsumoto Medical Center

まつもと医療センター

- ◆看護部長就任のご挨拶.....2
- ◆病院機能評価受審ご報告.....3
- ◆第2回まつもと医療センター登録医大会開催ご報告.....4
- ◆「看護の日」のイベント.....8
- ◆緩和ケア研修会・看護学生フォーラム・音楽療法研修会.....9
- ◆宜保内科 消化器・肝臓内科クリニック紹介.....10
- ◆新任医師紹介.....11
- ◆お知らせ.....12

看護部長就任ご挨拶



看護部長
さとう のりこ
佐藤 則子

4月1日付で下総精神医療センターから参りました看護部長の佐藤です。2年前まで東長野病院におりましたので、長野県での勤務は2度目ということになります。まつもと医療センターには会議で毎月来ていましたので初めての病院という気がしません。雄大なアルプスを眺めながらお蕎麦をはじめとしたおいしいものをたくさん食べて、あちこちの名所巡りをしたいと考えています。

さて、今年度は念願の一体地新病棟の建設に向けて具体的な準備を進めていく大切な年といえます。看護部は統合にあたり、①職員が互いの病院について理解を深める②事前に業務の統一を図る③各診療科、専門分野の教育をさらに進めることが重要と考えています。

また、まつもと医療センターの特徴の一つとして、急性期から慢性期まで幅広い医療・看護を提供して地

域に貢献しています。そのため地域医療連携にも力を入れ、地域の医療機関、施設等と連携を取りながら退院後もその人らしい生活が送れるよう活動しています。

看護部は国立病院機構が求める看護師像、「理論と技術をもって、創造し、積極的に行動する看護（II ACT Yナース）」を実践する看護師を育成するために全国機構病院共通の「看護職員能力開発プログラム」にそって教育を実施しています。

ジェネラリストからスペシャリストまで全看護師が自分のライフスタイルや看護観に沿った看護の実現を目指しながら、地域の皆様に専門的技術や知識を提供し地域と一体となった病院作りをしていきたいと考えています。

「いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します」という当院の理念の基、常に笑顔を絶やさず患者さんの目線にたって懇切丁寧な医療・看護を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

理 念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基 本 方 針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切に、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院経営を行います

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利

中信松本病院

病院機能評価Ver.6受審ご報告

病院機能評価更新の受審を終えて

中信松本病院では昨年11月に3日間の審査を受けて、最新版（Ver.6）で機能評価を更新することができました。中信松本病院がはじめて機能評価（Ver.6）を受審したのは平成18年11月のことでした。この4年間のあいだには多数の職員の異動がありました。松本病院との組織統合で「まつもと医療センター」となり、組織にも大きな変革がありました。

平成21年6月に松本病院でも機能評価（Ver.6）の認定を取得しています。その受審と今回の2回の受審を通じて、両院の各部門でさまざまな改善と標準化がはかられて、一体地での運営に向けての整備がいっそう進んだことは大きな収穫であったと思います。

病院機能評価は「患者さんとにかくに質の良い医療を提供できているか」を患者さんにかわって第三者が問うものです。さいわいに今回一回で合格できましたが、今回だけのことで終わらせ

ずに、おのおの持ち場で「医療の質とはなんだろう？」と考えながら、病院の機能をさらに高めてゆけたらと思います。

今回の受審にあたっても暖かくかつ厳しい助言をいただきました。進士君枝さんには、心からお礼を申し上げます。また、4月の人事異動で転勤となった梅田看護部長、戸丸企画課長、渡辺管理課長、高橋検査科副技師長をはじめ職員みなさん、お疲れさまでした。



〔副院長 大原 慎司〕
おおはら しんじ

機能評価受審における効果

機能評価を受審すると聞いて、「看護記録を見直さないと」「環境も整えない」と気持ちには焦るばかりで、何からはじめたら良いのかとても戸惑いました。しかし、1病棟で退院時アンケートで指摘が多い、環境と患者対応面について特に力を入れようと思いました。環境面では、5Sを徹底し、病室、処置室の整備、きれいにできるところは壁まで拭きました。対応面では、受け持ち患者さんへの自己紹介の時、ただ「担当の〇〇です」ではなく、名刺と一緒に配り、今日の担当者がわかるようにしました。機能評価の準備中は、「大変」という気持ちばかりでしたが、機能評価を受審した前後では、退院時アンケートの環境面、対応面でも「良い」と答えた患者さんが90%を超える結果を得ることができました。この結果からも、日々の看護を見直し、整理していくことは、患者さんにとって質の高い医療を提供できることを学びました。機能評価受診を機会に改善してきたことを今後も継続したいと思いました。

〔1病棟副看護師長 宮島 明日香〕
みやしま あすか

病院機能評価を受審して

当院では、認定を受けてから有効期限が満了する時期を迎えたことから、改めて意思統一を図り更新に向けて病院全体で取り組んできました。約半年間に渡り部門責任者を中心とした医師、看護師、コメディカルなどが話し合い、「問題点の改善、業務マニュアルの見直し」を行ってきました。しかし準備が整ったのは訪問審査の数日前のため、予想以上に苦労したように思います。今回受審したことで優れている点や改善すべき問題点を把握することができたように感じています。今後、病院運営を支える上で目標に向かって職員全員が一丸となるような「改善のきっかけづくり」にサポートしていきたいと考えています。

〔事務部 経営企画係長 細田 和宏〕
ほそだ かずひろ

第2回まつもと医療センター登録医大会開催

まつもと医療センターは、円滑で充実した地域医療連携を目指して平成21年4月より登録医制度を運用しており、現在286診療所（医科222、歯科64）の医師・歯科医師の方々に登録をいただいております。去る2月22日に松本市内で、第2回登録医大会を開催いたしましたのでご報告いたします。

登録医・当センターの医師ら約90人が参加し、前半はセンター医師による講演が行われました。今回は講演の内容について各演者がまとめたのでご覧ください。講演におけるキーワードは、「認知症 気づきのポイント」、「もの忘れ外来」、「緩和ケアチーム」、「緩和ケアの地域連携」、「がん治療のモダリティ」、「三次元治療計画」でした。後半は高島松本市医師会長、鳥羽塩筑医師会長にご挨拶をいただき、小林正和内科医長（松本病院医局長）が司会し、スライドを用いて各診療科紹介が行われました。

今後も登録医制度を活用して患者の紹介・逆紹介、共同診療、医療機器の共同利用など地域医療機関との密接な協力体制を築いていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

副院長
地域医療連携室長
北野 喜良
きたの きよし



武井洋一 神経難病センター長 講演



司会 小林正和医局長



血液内科紹介



地域医療連携室メンバー紹介

第2回まつもと医療センター登録医大会

認知症の診療について

神経難病センター長 武井 洋一
たけい よういち

認知症とは、いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために、社会生活に支障をきたすようになった状態を指します。中でも記憶障害は中心となる症状であり、その多くは早期に出現します。本邦では、65歳以上の認知症有病率は3.8～11.0%であり、高齢になるとともに増加し、85歳以上の高齢者の約25%が認知症を有するといわれています。また認知症の割合は、アルツハイマー型認知症が40%以上と最も多く、脳血管性認知症がそれに続き、両者を合わせると、認知症全体の75%を占めます。

認知症に気づくポイントはいくつかありますが(図1)、朝話したことを午後には忘れていたり、同じ事を何度も聞いたりする、といった症状が気づくポイントとなります。

神経内科では、2年前から「もの忘れ外来」をはじめました(図2)。「もの忘れ外来」では①認知症かどうか診断する ②認知症の原因を確定する ③その人のあった治療や対応を検討する ことを重点に診療を行なっています。予約制で、

少なくとも3回の受診が必要です。初診は医療面接・診察・簡単な認知機能検査を行い、ご本人とご家族それぞれからお話をお聞きします。医療面接や診察で1時間程度の時間がかかります。また治療可能な認知症類の疾患を鑑別するため、甲状腺機能、ビタミン、血糖、電解質などの採血検査を行なって頂きます。2回目は松本病院放射線科で脳血流SPECT検査を行なういただきます。脳血流低下の有無や認知症に特有な低下のパターンがあるかどうか調べます。3回目は当院で脳MRI、MR angiographyと神経心理検査を行なういただきます。検査結果が出揃った段階でご本人とご家族にお話をすることになっています。原則、ご紹介いただいた先生に検査結果をご返事し、必要な介入方法を提案させていただきます。患者さんのフォローをお願いいたします。

2010年からの2年間でもの忘れ外来受診者は69名でした。そのうち近医よりご紹介いただいた患者は31名でした。受診の年齢は70代が最も多く、アルツハイマー型認知症が全体の44%を占めました。中には、家族性多発性脳海綿状血管腫の出血による見当識障害をおこした例や、

慢性硬膜下血腫や橋本脳症といった治療可能な症例も含まれていました。認知症を疑った場合には、正確な診断をつけるとともに、根本治療可能な疾患を見逃さないためにも、「もの忘れ外来」を利用していただければ幸いです。

平成23年よりアルツハイマー型認知症の中核症状に対する治療薬の選択枝が増え、現在では4種類の薬剤を使用することが可能となりました。今後さらに認知症に対する薬剤の種類が増えることが見込まれます。当院では10年ほど前から認知症に対する治療を行っており、現在でもアルツハイマー型認知症に対する新薬の治療を行なっています。これらの認知症に対する治療のご希望がございましたらご連絡ください。

図1 認知症気づきのポイント

- 今日の年月日や曜日がわからない。
- 今何時かわからない。
- 少し前のことや、1～2週間前に話したことを全く覚えていない。
- 同じことを何度も言ったり、会うたびに同じ内容の話をする。
- 使い慣れた単語が出てこなく、代名詞が多い。
- 話の脈絡をすぐに失う。
- 質問されたことと違うことを答える。
- 話のつじつまを合わせようとする。
- 家族が同席していると、聞かれるたびに家族の方を向く。

図2 もの忘れ外来

「もの忘れ外来」で行うこと
①認知症かどうかを診断する。
②認知症の原因を確定する。
③その人にあった治療や対応を検討する。

◆「もの忘れ外来」のスケジュール◆

1回目	4回目
初診(医療面接・診察・簡単な認知機能検査)	脳MRI、MR angiographyと神経心理検査
2回目	5回目
脳血流SPECT検査	治療薬の選択枝が増え、現在では4種類の薬剤を使用することが可能となりました。
3回目	6回目
脳血流SPECT検査	治療薬の選択枝が増え、現在では4種類の薬剤を使用することが可能となりました。

※本外来は予約制です。初診は11:00～11:30、午後1:00～3:30
※診察料：初診1,000円、再診500円(保険適用外)
※検査料：脳血流SPECT検査10,000円、脳MRI検査15,000円、MR angiography検査15,000円(保険適用外)
※処方料：処方箋1枚100円(保険適用外)
※交通費：松本市内から車で10分、駐車場あり(無料)

〒390-0801 長野県松本市大町1-1-1 松本病院 神経内科 認知症外来
TEL 0263-321111(代表) FAX 0263-321112
E-MAIL: info@matsumoto-medical.jp

第2回まつもと医療センター登録医大会

本院の緩和ケアチームの

活動の現状と課題

手術部長
緩和ケアチーム・麻酔科 井上 泰朗
いのうえ やすろう

世界保健機構（WHO）は2002年に緩和ケアを表に示したように定義しました。

（1）緩和ケアの対象となる疾患

緩和ケアの対象は、がん患者さんだけではなく、慢性の心不全や呼吸不全、神経難病や後天性免疫不全症候群等の生命を脅かす疾患による問題に直面している患者さんもひろく緩和ケアの対象となります。

（2）家族を支える緩和ケア

緩和ケアの対象は患者さんだけではなくありません。患者さんのご家族や介護されている身近な方々におこる心配な事や介護上の社会的・経済的な問題にも対応します。

（3）早期からの緩和ケア

緩和ケアは単なる看取りの医療でも、ターミナルケアでもありません。がんや診断された早期から、手術や化学療法などの抗がん治療と並行して緩和ケアは行われます。

（4）全人的苦痛（Total Pain）

患者さんの訴える苦痛は単に身体的な

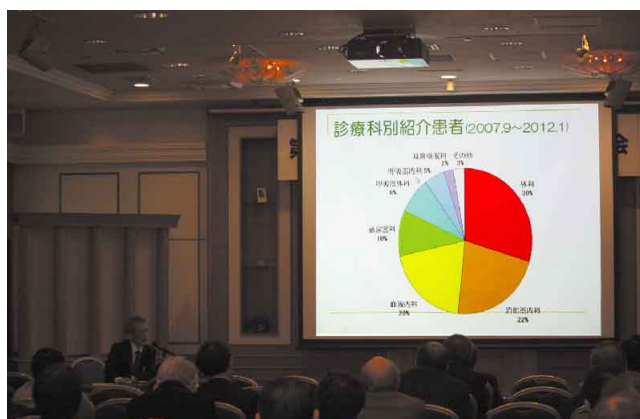
痛みだけではなくありません。不安やいらだちなどの、精神的な要因、仕事や家庭内の問題などの社会経済的な要因、さらに宗教的もしくはスピリチュアルな問題などが複雑に絡み合って症状に影響を及ぼしています。

一人の医師、もしくは看護師だけで対応できるのではなく、多職種によるチームアプローチが必要とされています。

まつもと医療センターでは平成19年より緩和ケアチームを立ち上げ活動してまいりました。医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、理学療法士、栄養士等の多職種からなるチームを組織し、連携して治療やケアを行っています。

平成23年度は年間新規紹介患者が1000名を超えるまでになりましたが、そのうちの9割弱の患者さんが病院で亡くなられています。ご自宅で最期を迎えたいという患者さんやご家族の意向に沿って、在宅ケアの導入をはかることができた患者さんは1割弱にとどまりました。

患者さんが希望される療養場所でも、いつでも切れ目のない緩和ケアを提供できるようにするために、地域の在宅療養支援診療所や居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション等の方々との連携、顔の見える関係作りがますます必要になると考えています。



WHO 緩和ケアの定義

(2002年)

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティ・オブ・ライフを改善するアプローチである。

第2回まつもと医療センター登録医大会

がんの放射線治療について

放射線科 小岩井 慶一郎
こいわい けいちろう

2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死亡するといわれる現代の日本においては、複数のがん治療モダリティを適切に組み合わせる集学的治療の重要性が増しています。放射線治療もその一翼を担う治療であり、乳癌治療における温存乳房への術後照射はその代表例です。また、頭頸部癌や食道癌における放射線治療では化学療法を同時に併用することがあります。これは抗癌剤の放射線増感作用により放射線治療の効果を増強させることを目的としています。併用によって確かに治療効果は高まりますが、同時に副作用も増強する事が難点です。一口に放射線治療と言っても実に様々な方法があります。皮膚を通して放射線を投与する外部照射は各種の

癌に用いられます。密封された放射性同位元素を体内に挿入する密封小線源治療は子宮頸癌、食道癌、前立腺癌などで用いられます。密封されていない放射性同位元素を内服、あるいは注射する非密封小線源治療は甲状腺癌や転移性骨腫瘍などで用いられます。当院では外部照射を三次元放射線治療計画に基づいて行っています。これは腫瘍の広がりや正常組織の位置をCT画像から作成した三次元データをを用いて正確に把握し、形状に合わせた照射野をマルチリーフコリメータというものをを用いて作るものです。近年はこの三次元治療計画を発展させた強度変調放射線治療が注目されています。この治療は放射線照射野内のエックス線の強さに「濃淡」をつけるもので、この「濃淡」の最適なつけ方をコンピュータに計算させるというものです。これにより腫瘍への線量

を増加させ、同時に正常組織への線量を低下させることができ、治療効果の向上と副作用の低下が期待されます。一般的な外部照射は通常1日1回、土日祝日を除いて毎日行われます。1回あたりの所要時間は10から15分程度と短時間ですが、根治的治療の場合は30回程度を要します。緩和的治療の場合は1から10回程度の事が多いです。



看護の日のイベント 一日街の保健室 開催しました

フロレンスナイチンゲールの誕生日の5月12日に「看護の日」が制定され20年以上が経過しています。また5月6日～5月12日は看護週間として、全国的にイベントを開催しています。本年度は「こころまで、看る」をテーマに、看護に対する社会の理解を深めようと各団体、施設で様々な取組が行われました。

まつもと医療センターでも、5月12日(土)に塩尻市広丘の、ショッピングセンターGAZAに、看護の日のイベント「一日街の保健室」を開催しました。まつもと医療センターとしてGAZAをお借りして行うのも4回目となりました。毎年、地域の皆様とふれあい、自分自身の身体状況を知って頂くことを目的に行っています。

当日は看護師、認定看護師、医師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、事務部、療養介助員の総勢35名で実施しました。内容としては、測定コーナーでは血圧、身長、体重、BMI測定、体脂肪測定、血糖測定、骨密度測定、相談コーナーでは医師による健康相談、認定看護師による緩和ケア相談、管理栄養士による生活習慣病や骨粗しょう症について栄養相談や理学療法士による腰痛体操が行われました。その他にお子様達に療養介助員によるバルーンアート、看護師白衣体験コーナーを設け白衣を着て記念写真を撮り母の日が近いこともあり、メッセージカードを添えてプレゼントしました。この白衣体験をきっかけに「看護師になりたい」という気持ちが芽生えてくれれば嬉しいです。

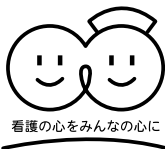
当日は、開催と同時に沢山の方が訪れ、4時間で263名の地域の皆様に来場して頂きました。来場者からは「毎年楽しみにしています」「買い物に来たついでに、血圧もはかつ

てもらえて得をした気分です」など、沢山の喜びの声を聞くことができました。

今回の看護の日のイベントのように、これからもまつもと医療センターの力を地域の皆様に向けて発信し、地域に密着した病院でありたいと思います。看護の日のイベントに御協力頂きました皆様方に深く感謝致します。



フロレンス・
ナイチンゲール



看護研究会会長

原 はら

真 ま

紀 き

緩和ケア研修会

1月28～29日

研修会の前、プログラムにアイスブレーキングだとか、ロールプレイだとか、あまり好みではない言葉が並んでいるのを見て暗い気持ちになりましたが、終わってみると2日間あっという間でした。症状別の対処法や麻薬を処方する際の注意点などが解消され、有意義な時間を過ごすことができました。コメディカルの方もたくさん参加されており、皆さんとても熱心なので、こちらもやる気が出ました。研修会の後、白血病で呼吸困難を訴える患者さんにモルヒネを処方し、早速研修会で得た知識を生かすことができました。今後の臨床現場でも役立てていきたいです。

研修医
川上徹



看護学生フォーラム・合同就職説明会 in 幕張

4月27日

国立病院機構関東信越ブロック第6回「看護学生フォーラム・合同就職説明会」が開催され、佐藤看護部長他総勢12名で参加してきました。

「看護体験コーナー」では皮膚排泄認定看護師の横沢・渡辺両副看護師長が、ストマケアの器具装着を行い、41名の学生の質問に答えました。「先輩教えて」コーナーでは、石川・小泉両看護師が国家試験対策の質問に答え、先輩としての貴録を發揮していました。「説明ブース」では、24名の看護学生に当院をアピールしました。目標を持った先輩看護師たちが活躍していることを伝え、若いエネルギーをいただけてきました。



教育担当看護師長
篠原和美

音楽療法研修会

5月10日

中信松本病院の療育訓練棟において、「音楽療法の基礎と応用（障害者医療での可能性）」と題して、院内研修会が開催されました。講師には長年音楽療法の分野で活躍されている、元創造学園大学芸術学部音楽科特任教授で信濃音楽療法研究会代表の新井幹先生をお迎えしご講演いただきました。先生は松本市のご出身でもあります。センタ―職員、寿台養護学校の方も含め57名のご参加をいただきました。内容は音楽療法の定義から始まり、音楽の療法的要素の説明、「脳トレ」の一環で、実際に音楽を使用して参加者で体験的な活動も行われ、和やかな雰囲気になりました。最後に先生より、患者の持っている音やリズムを見つけ、それに音楽で合わせていくことが重要であるとお話がありました。熱意ある新井先生の話と音楽に触れた時間で



療育指導室長
西巻靖和

宜保内科 消化器・肝臓内科クリニック紹介



ぎ ぼ ゆ き お
宜保 行雄 先生



〒399-0036 長野県松本市村井町南1-34-20
TEL (0263) 57-6060

URL: <http://www.gibo-clinic.com/>

診療時間

時間／曜日	月	火	水	木	金	土
8:30～12:30	○	○	○	○	○	○
15:00～18:00	○	○	×	○	○	×

* 休診日／日曜日・祝日 * 水曜日・土曜日は午前のみ

当クリニックは1999年開院したが、2011年当地へ転居130mほどまつもと医療センターに接近した。

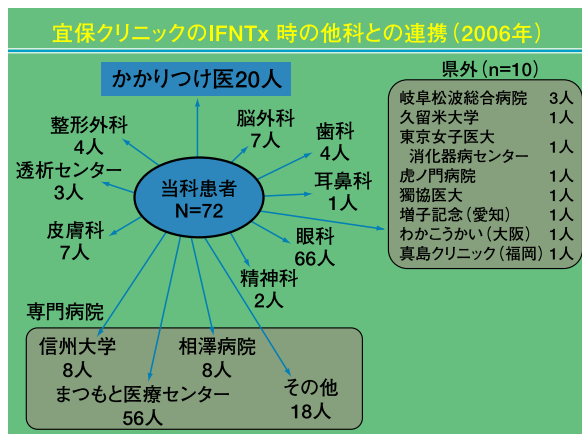
スタッフは看護師2人、検査技師2人、医療事務4人のほか、治療コーディネーター3人である。腹部心臓体表超音波診断装置2台、X線撮影装置、骨密度測定装置、スパイロメーター、血球計数器、生化学検査装置、血清学的診断装置を有し、迅速な診断治療を目指している。

当科で可能な検査は院内で行い、高額医療機器を使用する検査や専門的な診療、検査、処置や入院治療はまつもと医療センターにお願いするスタンスでこれまで病診連携を図ってきた。

毎週数名の患者さんが、検査や治療、入院などで貴院にお世話になっている。この紙面を借りて深謝いたします。

図の如く、当院の特殊性から、国内はもとより世界各地からの患者さんを診療している関係上、他科や専門病院と密に連携しているが、なかでも突出しているのが、まつもと医療センターの重要性である。これからも宜しく御協力お願いします。

2011年当科は米国ボストン



より Best Doctor in Japan に選出された。医師に「自分や家族が病気にかった場合どの医師に治療をお願いするか？」というアンケートを取った結果、本邦の Best Doctor 3,000人のなかの一人に名を連ねたのであるが、まつもと医療センターの協力で貢献のためと感謝している。

以前は「消化器科内科クリニック」であったが、移転を機に名称を「内科消化器・肝臓内科クリニック」に変更した。消化器肝臓が3,000人、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が4,000人以上になったため、名称も逆転させたのである。

新任医師紹介

松本病院



みつ い けん た
三井 健太
消化器科医師
平成22年卒
専門：消化器一般

日本内科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会
信州松本の皆様、こんにちは。今年度より松本病院消化器科にて勤務させて頂く事になりました。まだまだ未熟者ではありますが、他の先生方と協力し、地域の医療に少しでも貢献できればと思っております。よろしくお願いします。



つる た か お こ
鶴田 香生子
内科医師
平成21年卒
専門：血液内科

日本内科学会、日本血液学会
松本病院で働き始め早2カ月が経とうとしています。先生方やスタッフの方々に支えて頂き、少しずつ病院に慣れることができ感謝しています。日々の診療を通じて成長できるよう、がんばっていききたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



はやし ゆ き こ
林 悠紀子
循環器科医師
平成10年卒
専門：循環器内科

日本内科学会、日本循環器学会、日本心臓リハビリテーション学会
認定内科医、総合内科専門医、循環器専門医
大好きな自然が豊かな信州で働かせていただけることを嬉しく思います。自分のできることを精一杯行い、少しでも皆様のお役に立てればと思っております。よろしくお願いします。



い い ぬ ま の ぶ よ し
飯沼 伸佳
外科医師
平成11年卒
専門：消化器外科

外科学会、消化器外科学会
外科学会専門医
地域の医療に貢献できるようにがんばりたいと存じます。よろしくお願いします。

中信松本病院



つか だ ひろ き
塚田 洋樹
小児科医師
平成20年卒
専門：小児科一般

日本小児科学会、日本小児神経学会
4月より中信松本病院に勤務になりました。小児科医としての経験は浅いですが、その分一生懸命診察させていただきます。よろしくお願いします。



すず き とし ろう
鈴木 敏郎
呼吸器科医師
平成14年卒
専門：呼吸器科

日本内科学会、日本呼吸器学会、日本糖尿病学会
内科認定医、医学博士
4月から呼吸器内科に赴任しました鈴木敏郎と申します。18歳で信州大学に来てから人生の半分近く長野県に住んでおり第二の故郷と思っています。地域の皆さまのお役にたてる様がんばっていくつもりです。



よろしく
お願いします

お知らせ

中信松本病院

健康教室

テーマ 薬の知識について

中信松本病院で行います。患者さん、ご家族、地域の方、どなたでもご参加いただけます。事前申し込みは不要ですが、骨密度測定は先着20名になります。

日 時／7月19日（木）
受付／12時～13時
健康測定／12時～13時
骨密度（先着20名）、血圧、血糖、体脂肪の測定を行います。

講 場 所／中信松本病院 第一会議室
演／13時～14時 「薬の知識について」
講師：当院薬剤師

中信松本病院

在宅医療研究会

地域で在宅医療に関わる診療所の先生、訪問看護師、ケアマネージャー、ヘルパーなどのみなさん、参加をお待ちしています。（11月22日を除く4回は事前申し込みなどは不要です）

日 時／6月28日（木） 18時～19時30分
場 所／中信松本病院 第一会議室
テーマ／肺がん
講師／呼吸器外科医長 近藤竜一先生

今年度の予定
7月26日（木） 消化器がん
9月27日（木） 緩和ケア
11月22日（木） 吸引（ヘルパー対象・事前申し込み必要）
平成25年1月24日（木） 口腔ケア



松本病院

市民公開講座

地域住民の皆さんを対象にした公開講座（無料・申し込み不要）です。

大勢の方々のお越しをお待ちしています。

日 時／7月8日（日） 13時～15時
場 所／松本病院 会議室

テーマ／

〈乳がん〉

講師：信州大学医学部附属病院

乳腺・内分泌外科 金井敏晴先生

〈がんの痛み〉

講師：まつもと医療センター

緩和ケア認定看護師 唐澤由美

*講師からのお話のあと、質問コーナーを設けます。

奮ってご参加ください。



まつもと医療センター

第16号 平成24年6月1日発行
発行人 院長 米山 威久

松 本 病 院
〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号
TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183
中信松本病院
〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811
TEL.0263-58-3121 FAX.0263-86-3190
<http://mmccenta.jp/>

編集後記

● 年度が替わり、新たなスタッフも増えました。気持ちも新たに頑張ります。

広報誌を通じて地域の皆様とより良い関係が築けるよう、今後ともよろしく願っています。



(M)